

Possibility of dialogue for better care

ダイアログ の可能性



2018.11/3 土・祝 ■ 会 場 新潟青陵大学

10:00~16:00

受付 9:30~(4号館1階ホール)

■ 学術集会長 斎藤まさ子(新潟青陵大学大学院看護学研究科 教授)

プログラム

■ 基調講演/10:10~12:00(5301講義室)

「開かれた対話性ーダイアログの可能性ー」

講 師: 竹 端 寛(兵庫県立大学環境人間学部 准教授)

■ ポスターセッション/13:00~14:00(1204・1205・1206講義室)

■ シンポジウム/14:10~15:55(5301講義室)

「ケアにおけるダイアログの実践」

シンポジスト: 大 竹 美 幸(緩和ケア認定看護師)
新潟県立がんセンター新潟病院 緩和ケアセンター

小 山 弓 子(社会福祉士)
新潟市地域包括支援センターあじかた

近 田 裕 之(臨床心理士)
医療法人恵松会 河渡病院

コメンテーター: 竹 端 寛(兵庫県立大学環境人間学部 准教授)

座 長: 池 田 かよ子(新潟青陵大学大学院看護学研究科 教授)

参加
申込

事前申し込みは不要です。当日、直接受付においでください。

参 加 費 | 学会員、本学学生・本学大学院生/無 料
非学会員: 一 般/1,000円、学生・大学院生/500円

ダイアログ(dialogue)

「ダイアログ」とは、二人以上の人の
取りかわす問答、わかりやすく言うと、対話・
会話を意味します。利用者側の声に耳を傾
けることから、ダイアログの回路が開かれ
ていき、お互いの関係性を変え、相互に変容
する大きな渦となっていくと言えます。

支援者として何を大切にしたらよいか、
そのために私たちができることは何か、基調
講演、シンポジウムを通して参加者の皆様と
一緒に考えていきたいと思います。



お問い合わせ 新潟青陵学会 第11回学術集会事務局

〒951-8121 新潟市中央区水道町1丁目5939番地
TEL: 025-266-0127(代表) FAX: 025-267-0053(代表)
E-mail: 2018conf@n-seiryo.ac.jp
ホームページ: <http://www.n-seiryo.ac.jp/gakkai/>

